

市民の皆さんとミーティングの概要

団体名	柳町女性会
開催日時	平成31年2月22日（金） 11:00～12:00
開催場所	市長応接室
出席者	柳町女性会 7人 市長、商工港湾課長、中心市街地活性化室長、商工港湾課主査 地域情報課長・広報広聴係長
案件	柳町商店会の振興にかかる現状と今後の取り組みについて
概要	<p>Q 市からいろいろ補助をいただいている。私たちも頑張っって季節ごとの行事をやってきた。これからも続けながら、イオンとの連携も密にして、商店街を存続させていく方法を模索したい。</p> <p>市役所のイルミネーションがキレイでほっこりする。遠回りしてでも市役所のイルミネーションを見に行く人もいる。能代駅やけやき公園でもイルミネーションを行ったが、柳町でもやってほしい。柳町商店街でイルミネーションを継続的に行うのは予算的に難しい。市役所のイルミネーションを柳町まで延ばしてほしいが、それができなければ、数年に1度の持ち回りでもいいので柳町でもイルミネーションを行ってほしい。</p> <p>能代は風力の街だが、その電力がイルミネーションになるというイメージもよいと思う。柳町は街の中心だし、シンボルにもなる。</p> <p>A イルミネーションについて、市役所での点灯が終わった後、貸せないか検討したが、壊れやすく、すぐに切れるようだ。電源をどうするか、LEDの種類がいろいろあるが市役所にあるものでよいか、壊れたときはどうするか、電気代はどうするかなど、女性会で考えていることを柳町商店街でやりたいのであれば相談してほしい。</p> <p>場所については持ち回りでやっているわけではないが、商店街でやれないか、どういう順番でできるのかなど検討したい。ただ皆さんにも検討していただきたいが、イルミネーションをつけて人が来ても店が開いていなければ買い物ができない。店を開けておく努力をしていただきたい。できる限り要望に応じていくようにするので、皆さんも商売につながる努力をしていただきたい。</p> <p>Q 柳町商店街が消えてしまわないよう私たちも努力するが、旧市内の人口が減少している。旧市内の再開発の計画案がほしい。郊外に大型店ができていますが、祭りなど歴史や文化のある能代市を将来に残すための手だてを始めてほしい。</p> <p>A 商工会議所と協力して、駅前や商店街の将来の構想をつくって行こうとしている。地権者の協力が得られれば、まちづくりの設計図を描きたいと思っている。</p> <p>柳町商店街は能代の中で一番元気がある。歩行者天国など企画してみてもどうか。皆さんから企画をいただければ、市として警察などに働きかけていきたい。</p> <p>行ったら楽しいこと、ほしい物、おいしい物があるなど、商店街には魅力が必要、商品開発の補助金があるので利用してほしい。</p> <p>用事の無いときも寄れるお店があればよい。店頭にイスとテーブルを設置したり、トイレをきれいにしたりする支援を検討している。街の駅という発想だが、気楽にトイレを借りれば人通りが多くなる。</p>

いままで勉強会、講演会、視察などを行ってきたが、行動する時だと思う。一步踏み出してみる必要がある。

Q 規制があり、歩道にイスやテーブルを出せない。

A いろいろな規制や問題があると思うが、畠町の歩道で屋台村ができないかといった発想でよいと思う。毎日は無理でもイベントの時とか土日とか、思いついたことができるかどうか行動してみる事が大事。

市役所内部では、トイレの改修や、木都だから木の看板をつけたらどうかなど話している。みんなで知恵を出しながら検討していければよい。

中心市街地活性化室に気軽に相談してほしい。

Q 畠町や柳町は道路が広いが、駐車帯にできないか。

A 畠町の駐車帯は以前からの懸案だが警察の許可が出ない。

危険な空店舗や空家について所有者が解体できない場合、市が解体するが経費を回収できない。その場合、市に一定期間貸してもらって駐車場にできないか考えているが、駐車帯の事も含めて検討して行く。

今日色々な話が出た。予算の事もあるが、皆さんで相談してやってみたいことがあったらまず相談してほしい。今ある制度の中でできるものであればやるし、新たな制度をつくらなければいけないものは来年制度をつくる。

Q 今日話を聞いて、私たちの努力も足りないと思った。

空店舗によいお店が来てほしい。気骨のある方に来てほしい。

カレー店のヒマールさんが閉店したが残念。支える私たちも悪かった。家賃補助をもう少し伸ばしてほしい。

A 家賃の補助制度は考えてみたい。

やはり、「柳町に来たら楽しいことがある、美味しいものがある」が大切だ。商品開発や企画を支援していくので、ぜひ取り組んでほしい。

行政なので、できないこともあるが、できる限り皆さんのご努力に応えていきたい。

Q 手に職を持って能代に帰ってくる若い人も多いが、なかなか食べていけない。そういう人を何とかしたい。

A 農業をやりたい人は2年間、技術センターで月10万円もらって技術習得できる制度がある。商業にも同じような制度を考えている。起業のサポートもしている。

起業する人に場所を提供するチャレンジショップの取り組みも行っている。

Q 今日、いろいろなお話を聞かせてもらったが、私自身、人が来なくて、早く店を閉めていることを反省した。

A イルミネーションをつけても、仕事につながらなければいけない。店を開けることも考えてもらいたい。

Q 店の前でお茶を飲むのはよいことだと思う。

A 月に1回でもよいので企画してみるとよいと思う。

<p>Q 長椅子のベンチを置ければよい。</p> <p>A 木の学校から秋田杉で作ってもらって並べておくのもよいと思う。</p> <p>Q 柳町商店街は、小学生に声をかけてくれるし、誘ってくれる。子ども達がいろいろ迷惑をかけていると思うが優しく見守ってくれてうれしい。街が次世代の人をしっかりと育ててくれている。</p> <p>A 商店街で子ども達に声をかけてくれると、子ども達がいさつすることを覚えるし、子どもの安心安全にもよい。商店街が子ども達を育てる支援をしてくれると、その子ども達が大きくなったとき遊びに行くといった関係ができる。そうすると温かい商店街になる。</p> <p>Q そのような商店街になるよう努力していくが、市役所もいろいろな課題をよい方向に解決していただければありがたい。また、市民の意見を聞いて実行していくシステムをつくっていただきたい。</p> <p>A 努力していく。</p>
